

平成15年度 文学部 授業計画表[syllabus]

科目名 教育相談 (英文名) Educational Counseling	2単位 (春・秋期)	(ふりがな) にしの やすひろ 担当者 西野 泰広 e-mail
授業のねらい: 概要: 教育相談を2つの潮流に沿って学習する。第1の流れは、今ここに悩める問題を抱えた子がいる。その子に直面したとき、教師は果たして臨床心理士のように接し、振る舞うことができるか?この疑問に応えようとするもので、医療モデルに基づく対処の技量が求められる。第2の流れは、自分が教師であることを考えると、そういう子を自分の授業から出さないように、授業を工夫し、予防しようとする道である。つまり、発達モデルに従い、子どもとのかかわりを深め、子ども自身の自己理解を深めさせ、解決の手助けをしようとする道である。いずれも重要なことだが、受講生はどちらが自分にあっているか学んで欲しい。一方向の講義形式を取らず、VTR教材や心理テストを用い、心理学的なものの考え方や方法について、双方向的な形式で学習を進める。受講生は、毎回内容をまとめた小レポートを作成し、最終講義時に提出する。		
教科書: 「こころの科学」西野編 東洋経済新報社		
参考図書:		
評価法: 小レポートによる平常点		
具体的評価方法等:		

【授業計画】

回数	講義テーマと概要
第1回	ガイダンス 授業の進め方等
第2回	PDSの理論と測定 PDCテスト
第3回	発達モデルと医療モデル 2つのモデルの考え方と対処法の違い
第4回	やる気と無気力症候群 やる気の測定、無気力症候群のメカニズムと対処
第5回	エゴグラムと交流分析① 構造分析
第6回	エゴグラムと交流分析② 交流パターンの分析
第7回	エゴグラムと交流分析③ ゲーム分析と脚本分析
第8回	カウンセリングと構成的エンカウンターの原理 個別・集団カウンセリングの技法
第9回	構成的エンカウンターの実際① 小学校におけるモデル授業と実践例
第10回	構成的エンカウンターの実際② 中学校におけるモデル授業と実践例
第11回	構成的エンカウンターの実際③ 高校におけるモデル授業と実践例
第12回	スクールカウンセリングの実際① 言葉にならない言葉を感じとる。不登校・いじめと対処
第13回	スクールカウンセリングの実際② 教師・悩みと成長。ムカつくとき、キレルとき
第14回	スクールカウンセリングの実際③ 学級崩壊を防ぐ。スクールカウンセリングの技法
第15回	まとめ 小レポートの提出等